

JAグループの取り組み



令和3年10月

全国農業協同組合中央会　くらし・高齢者対策課



JAグループとは



JAグループは農業生産者（組合員）が営農・生活をするために助け合う組織（協同組合）です。

JAの運営の中心となるのは、組合員です。

組合員の意思をまとめ、事業を進めています。

JAの補完機能として、県・全国段階に補完する組織があります。



JAの組合員組織



JAには、組合員がそれぞれ目的別や地域別に集い、活動する組合員組織があります。
なかでも助けあい組織や女性組織は地域に密着した活動をおこなっています。

	メンバー	組織数
女性組織	501,449人	558
助けあい組織	24,969人	465

JA全中調べ、女性組織（令和2年度）助けあい組織（令和元年度）



例えばこんな取り組み①



滋賀県 JA東びわこ 助けあい組織「陽だまりの会たん・とん」は、JA東びわこ管内の有志によるもので、組合員と家族、および地域住民がお互いに力を合わせ、助け合い活動の輪を広げています。

コロナ前までは、地域へ出張サロン、認知症カフェなどを開催し、認知症の理解を広げようと、認知症の寸劇を自作上演していました。

現在は、長寿を祝う手作りのハガキを送る活動などを続けています。





例えばこんな取組み②



群馬県 JAはぐくみ「すみれの会」では、安心して暮らせる心豊かな地域づくり」をスローガンに、ミニデイサービスやJA事業のボランティアなど幅広い活動を展開しています。

ミニデイサービスは、一昨年度107会場。延べ687人が参加。



新型コロナの影響でミニデイサービス中止

地域の集まりがなくなり不安が広がる皆さんに声掛けしようと
「元気ですかテレフォン」を実施。

「お身体に変わりはないですか」

「再開したらまた楽しく過ごしましょう」と声掛け

利用者からは、「ヘルパーさんの声が聴けて安心した」との声

※他にも手作りマスクをデイサービスセンターや訪問介護利用者へ配布





例えばこんな取り組み③



JA健康寿命100歳プロジェクト

運動



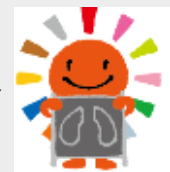
- JAてんとうムシ体操（転倒予防）
- JAみつばち体操（尿失禁予防）
- 「ウォーキング」
- 健康体操の実施

食事

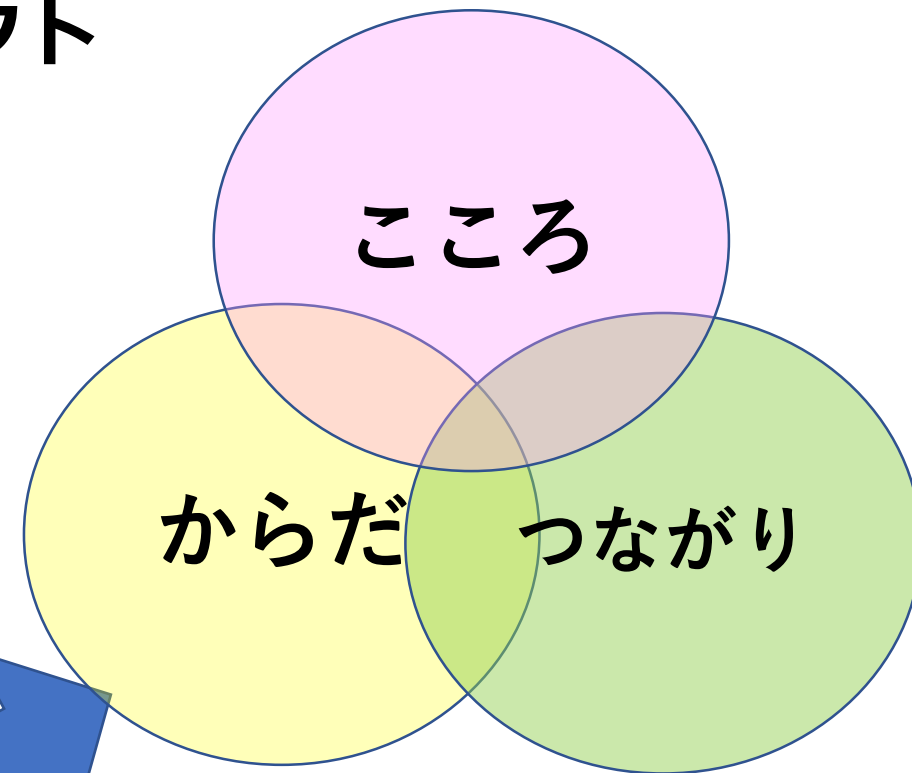


- 乳和食®の実践・普及推進
- 「五色弁当」の実践
- みんなのよい食プロジェクトの推進

健診介護医療



- 歯(し)あわせ体操（口腔ケア）の普及
- 認知症啓発活動（認知症サポーター養成等）



新しい健康の概念を参考に、
全ての年齢層に対して、
「こころ」「からだ」
「つながり」を軸に活動展開